



## 受動喫煙防止について

### 受動喫煙による健康リスク

たばこの煙は、喫煙者だけでなくその煙を吸ってしまう周囲の人にも、肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群のリスクを高めてしまうなどの健康影響があります。

改正健康増進法の全面施行により、令和2年4月1日から、多くの人々が利用するすべての施設（事業所、オフィス、飲食店等）においても受動喫煙防止対策が義務となりました。

### 法改正の概要

- ・施設内での喫煙を可能とするためには、基準を満たす喫煙室の設置が必要です。
- ・喫煙室を設置した際は、標識の掲示が義務付けられます。  
→ [標識例（鹿児島市HP）](#)
- ・20歳未満の方は、従業員も喫煙エリアに立ち入らせることはできません。
- ・義務違反時には、指導・命令・罰則等が適用されることがあります。



※屋外に喫煙場所を設置する際は、「受動喫煙を生じさせることがない場所とするよう配慮すること」が義務付けられています。



### 職場における受動喫煙対策

#### [職場における受動喫煙防止対策について（厚労省HP）](#)

- 職場における受動喫煙対策について、国によりガイドラインが示されています。
- 事業所における受動喫煙防止対策を推進することを目的とした助成事業があります。

- ・受動喫煙防止対策助成金

対象：労災保険の適用を受ける事業主（中小企業事業主）の方  
お問い合わせ先：鹿児島労働局

- ・生衛業受動喫煙防止対策事業助成金（[（公財）全国生活衛生営業指導センターHP](#)）

対象：労災保険の適用を受けない生衛業者（一人親方等）の方  
お問い合わせ先：（公財）鹿児島県生活衛生営業指導センター

○喫煙室の設置に関する技術的な電話相談や、測定機器（風速計、デジタル紛じん計）の貸出しも行われていますので、ぜひご活用ください。



**受動喫煙による健康への悪影響から利用者や従業員を守るため、**

**ご理解・ご協力をお願いいたします。**



**受動喫煙のない社会を！**